

■ 温室効果ガス削減目標

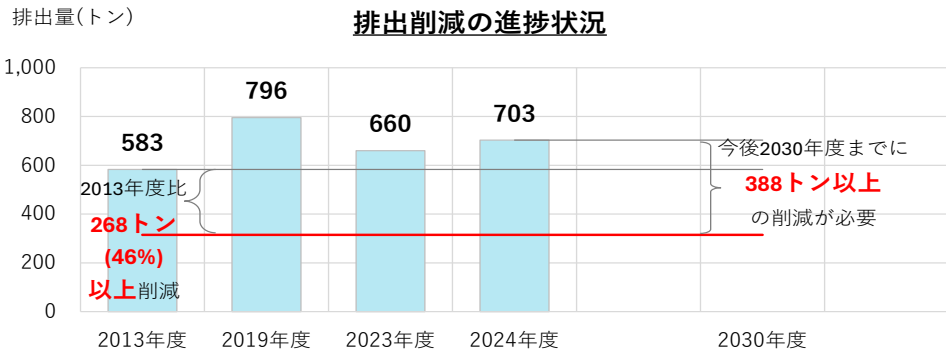
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (268トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

■ 温室効果ガス排出量の推移

岩国空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比43トン増加の703トンである。
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後388トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	531	716	583	630
空港車両	53	79	77	73
計	583	796	660	703

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.636、2023年度：0.551、2024年度：0.520
 空港全体の商用電力使用量(kWh)…2019年度：112.6万、2023年度：105.7万、2024年度：121.2万

■ 2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

岩国空港では、コロナ禍以降の空港の利用の回復がみられ、2024年度には旅客数がコロナ前の水準を上回った。主に契約されている電力会社の排出係数は低下傾向にあるが、商用電力の使用量が2024年度に増加したことを背景として、2023年度に減少した温室効果ガス排出量が2024年度には増加に転じている。

■ 2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➤ 建築施設照明のLED化、建築施設の熱負荷低減、空調・換気の省エネルギー運用の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➤ GSE車両のアイドリングストップの取組が行われた。
再生エネルギー導入促進に係る取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)
その他の取組	(当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし)